

2020年8月6日

株式会社 山陰合同銀行

企業リスクに備える「総合補償制度」の導入について

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）では、ごうぎん経営者クラブサービス利用者様を対象に、様々な企業リスクに備える補償制度「ごうぎん経営者クラブ総合補償制度」を導入いたしましたのでお知らせいたします。

経営環境が厳しさを増すなか、当行はお取引先と長期的な信頼関係を軸にした「真のビジネスパートナー」となることを目指しております。本制度は、事業支援の一環としてお取引先を事業活動におけるリスクから総合的に守りすることを目的としております。

補償内容は、訴訟・情報管理リスクのみならず、近年の自然災害増加をふまえ、利用者様の大切な経営資源である商品等の物流リスクにも対応できるプランをご用意いたしました。

なお、本制度を導入した金融機関は、近畿・中国四国地方の地銀においては初めてです。

記

1. 目的

ごうぎん経営者クラブサービス利用者様の経営課題のひとつである「経営の安定化」を図るため、事業支援の一環として総合補償制度を導入いたしました。

当行は、事業活動における経営課題解決とサービスの充実を行い、真のビジネスパートナーとして、お取引先の持続的な発展に貢献してまいります。

2. 制度概要

保険契約者（＝当行）、被保険者（＝ごうぎん経営者クラブサービス利用者様）、募集代理店（＝松栄㈱）、引受保険会社（＝東京海上日動火災保険㈱）とする団体損害保険制度です。

なお、加入時にはお申し込みが必要です。

	保険プラン	対象となるリスク
(1)	D&Oマネジメントパッケージ (経営責任総合補償特約条項付帯 会社役員賠償責任保険)	訴訟・雇用リスク
(2)	雇用関連賠償責任保険	
(3)	サイバーリスク保険	情報管理リスク
(4)	個人情報漏えい保険	
(5)	PL保険(生産物賠償責任保険)	製造リスク
(6)	海外PL保険	
(7)	リコール保険	
(8)	商品総合補償運送保険(パッケージ型)	商品物流リスク (商品＝火災、自然災害時の商品・原材料等の流動資産)
(9)	ロジスティクス総合保険(オーダーメイド型)	

3. 制度導入日

2020年8月6日（木） ※保険開始日は2020年10月1日となります。

以上